

日高町



地域農産物の直売(さるくる)



「さるくる」のキャラクター
エゾユキウサギのうさっぱー

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体 合同会社うさっぱカンパニー × ファームインひだか くるみちゃんハウス 【日高町】

地域農産物の販売と体験型交流による地域活性化

【はじめは？】

道東道の開通により日高地域に立ち寄る観光客が激減したため、日高地域の個人商店が次々と閉店し地域に元気がなくなってしまっていました。また、地元野菜の直売所も閉店が決まり、農家さんの野菜出荷先が無くなると地域の衰退に拍車がかかることを危惧して「うさっぱカンパニー」を立ち上げ、道の駅(樹海ロード日高)内に農産物等を扱う「ショップ&コミュニティスペース さるくる」の運営を始めました。

民宿「ひだかくるみちゃんハウス」では、宿泊する人が日高地域の自然の良さを知り、地域の人たちとの交流がもてる宿として地域の案内や米作り体験などを行い、地域内外の交流の場を設けています。

【おもな活動】

「うさっぱカンパニー」では、「さるくる」において地域の農産物などの販売とともに観光客への周辺観光情報の提供や体験事業などを行っています。また、「ひだかくるみちゃんハウス」では、地域と町外の人たちの交流として田植え、稲刈り、はさ掛け、脱穀を行う「米作り体験」などのイベントを毎年開催しています。

店舗「さるくる」があるからこそ体験型の交流が続けられるとともに、地域の特産物として販売ができています。



稲刈りの様子

【ここが自慢】

【「さるくる」を通じた地域活性化】

日高地区は過疎化が進み農家さんは小規模になり、野菜の出荷先は「さるくる」だけとなっています。

地元農家の方々は「さるくるがあるから」と農家を続け出荷することを楽しみにしてくれています。開店前後に野菜を持ってきた地元農家さんや地域の人たちが楽しそうに話をするなど、地域の交流の場にもなっており、活性化にも繋がっています。

「ひだか くるみちゃんハウス」では、米作り体験を主催しており、町内外から親子連れが参加し、消費者や子供たちとの体験型の交流活動を行うことで、農村景観と農産物を結び付け、日高地域の米のおいしさや農業の大変さ、楽しさを伝えています。米作り体験で作ったお米は、参加者で買い取るほか、「さるくる」で「はさ掛け米」として販売しており、地元特産物となっています。

連絡先

代表者名 : 横山 敏雄さん/設立: 令和2年/会員: 35名

住所 : 沙流郡日高町本町東1丁目298-14
(道の駅樹海ロード日高 さるくる)

電話番号 : 090-2069-6217 (さるくる)

F A X : 050-3457-8333

E-mail : usap3696@gmail.com

U R L : <https://www.facebook.com/usapsarukuru/>
<https://blog.goo.ne.jp/sarugawa200941-ay>



さるくる